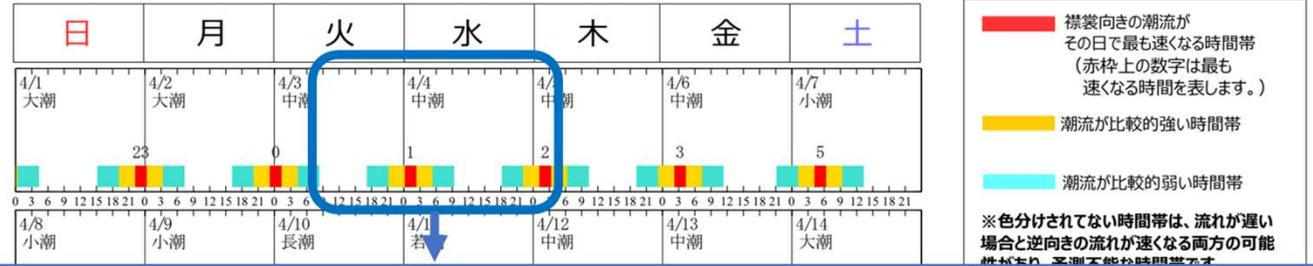


道東太平洋沿岸潮流予報カレンダー

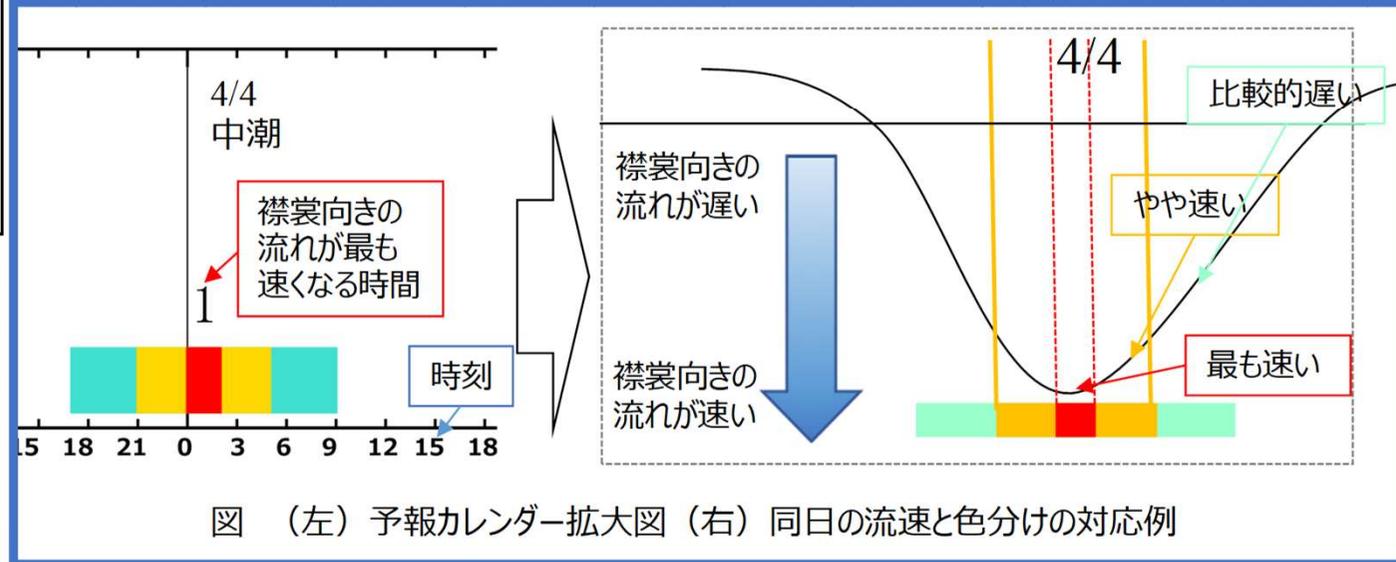
2018年04月道東沿岸（広尾：豊似）潮流予報カレンダー



●カレンダーの読み方

H27~28年に落石、厚岸、広尾で実施した調査により、道東沿岸では一日の間に流れの強さが大きく変化する事が分かりました。基本的な流れは**浜なりに襟裳に向かう流れですが**、その中でも**1日に1~2回流れが速くなる時間帯**があります。

その時間帯は**（釧路-花咲）間の潮位差**とよく対応しており、各海域では潮位差が最も大きくなる時間帯から一定時間後に（落石：0時間後、厚岸：7時間後、広尾：27~29時間後）襟裳向きが最も速くなる事が分かりました。



H27~28年の調査結果をうけて、気象庁が発表している潮汐表（天文潮位）を元に、襟裳向きの流れが最も速くなる時間帯を予測するカレンダーを作成しました。

注意①：あくまで予測に基づく潮流の目安です。実際の流れは風など複数の要因でも変化します。

注意②：この予測は一日のなかで速い時間帯を表す予測です。潮流の強さは日によっても大きく違います。

青色でも作業が困難な日もあれば、赤色でも支障がない日もあります。

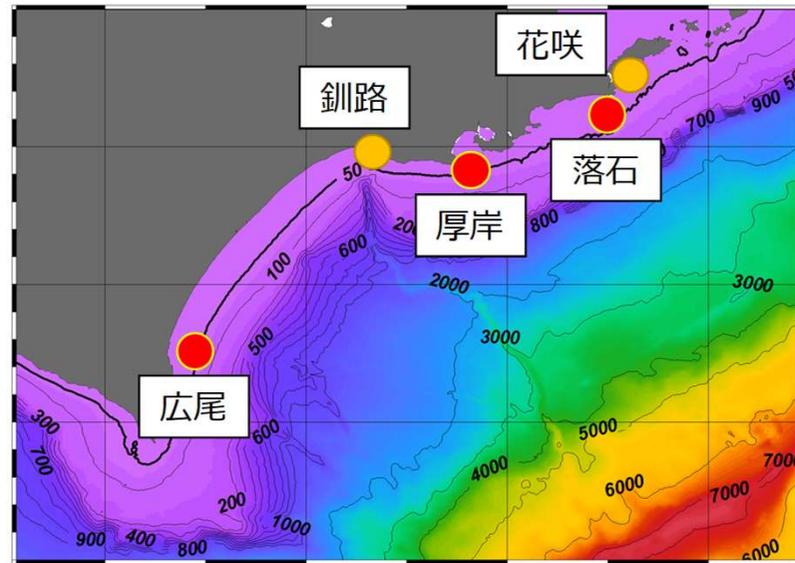
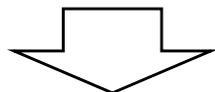


図 流速予測海域（赤丸）と潮位観測点（黄丸）

●潮流予報カレンダー補足 観測海域以外での予報について

3海域での観測結果から流速が速くなる時間帯は上流から下流へと一定の速度で変化する。



観測海域以外でも早くなる時間は予測可能

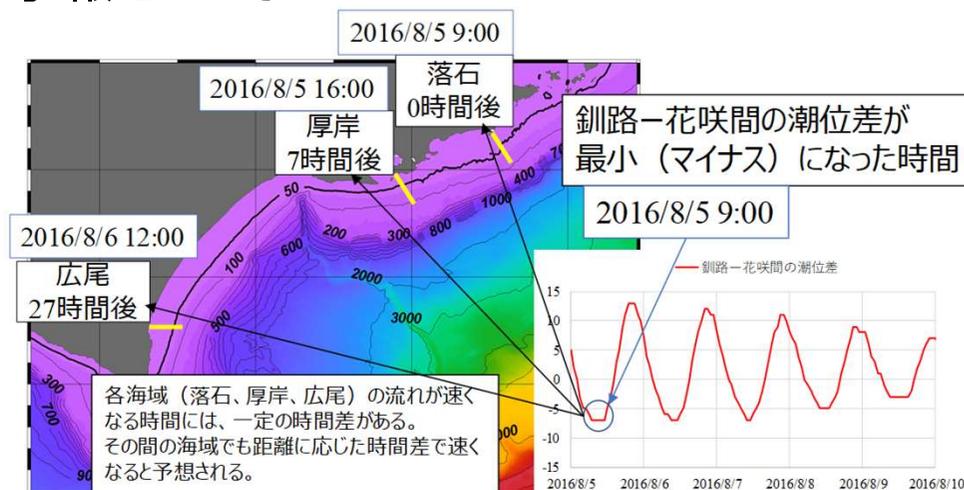


表 各海域間の距離と流れが速くなる時間帯の時間差

海域	落石（観測点）からの距離	時間差（落石基準）	時間差（厚岸基準）	時間差（広尾：豊似基準）
落石（観測点）	0km	0時間	-7時間	-27時間
浜中	27km	4時間	-4時間	-23時間
散布	43km	6時間	-1時間	-21時間
厚岸（観測点）	54km	7時間	0時間	-20時間
昆布森	83km	11時間	4時間	-16時間
釧路	106km	14時間	7時間	-13時間
白糖	127km	16時間	9時間	-10時間
大津	160km	21時間	14時間	-6時間
大樹	188km	24時間	17時間	-2時間
広尾：豊似（観測点）	206km	27時間	20時間	0時間
広尾：坂の下（観測点）	224km	29時間	22時間	2時間

流れが速くなる時間帯は、上流から下流へと7～8km/hの速度でずれていく。

海域間の距離に応じて時間差を求めることで、観測していない（カレンダーのない）海域でも速くなる時間をある程度推測できる。

例：落石のカレンダーを元に浜中の流れの速くなる時間を推定するには落石の時間から4時間足してずらす。

厚岸のカレンダーを元に散布を推定するには1時間引く。